

「術前栄養介入時の食事内容と栄養状態および
臨床的アウトカムに関する予備的検討」へご協力をお願い

【目的】

呼吸器外科の手術を受ける患者さんにおいて、術前の栄養状態や筋肉量が、手術後の回復や退院日数に影響することが知られています。しかし、「具体的にどのような食事内容（食事の質）が、患者さんの栄養状態や筋肉量の維持、そして術後の早い回復につながっているのか」については、まだ十分なデータがありません。本研究の目的は、当院で術前栄養指導を受けられた患者さんの食事内容と、栄養状態・筋肉量、および術後の経過（ドレーン期間や在院日数）の関連性を明らかにすることです。

【研究の対象】

令和8年5月1日 から 令和8年7月30日 の間に、当院呼吸器外科にて術前栄養介入（管理栄養士による栄養評価・食事指導）を受けられた患者さん

【研究の目的・方法】

対象となる患者さんの電子カルテ等に記録されている以下の既存データを抽出し、解析を行います。

- ・患者さんの基本情報（年齢、性別、手術内容など）
- ・術前にお伺いした食事内容（食事の質：DQS-J スコア）
- ・血液データおよび身体計測データ（栄養指標：GNRI・PNI、骨格筋量：SMI など）
- ・術後の経過情報（胸水ドレーン留置期間、術後在院日数、合併症の有無など）

※ 本研究は、過去の診療データのみを使用する「観察研究」であり、新たな検査や追加のお手続き、費用の発生などは一切ございません。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日～令和9年3月31日迄

【外部への試料・情報の提供について】

なし

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

「食事の質 → 栄養状態・筋肉量 → 術後の早い回復」という一連のつながりを明らかにすることで、将来的に患者さんお一人おひとりに合った、より質の高い「術前の食事・栄養指導プロトコル」を創出することに貢献します。

【本研究に対する研究利益相反（COI）】

なし

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 栄養管理室

氏名 荒木 光

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766